Panasonic

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BZT9000
DMR-BZT910

準備編

はじめに
接続
設定
その他の設定
HDDの接続

はじめにお読みください。

本書はブルーレイディスクレコーダーをお楽しみいただくために、必要な接続や設定について説明しています。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書（準備編・操作編）」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に **「安全上のご注意」（操作編 179～183ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

目次

接続

設定

初めて電源を入れたときに、以下の設定を行ってください。

※ 以降、USB-HDD と表示

本書内の表現について

- ●本書内で参照していただくページを（➜ ○○）、別冊の取扱説明書 操作編で参照していただくページを（➜ 操作編○○）で示しています。
- ●本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。
- ●この説明書における本体および画面イラストは DMR-BZT9000 のものです。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

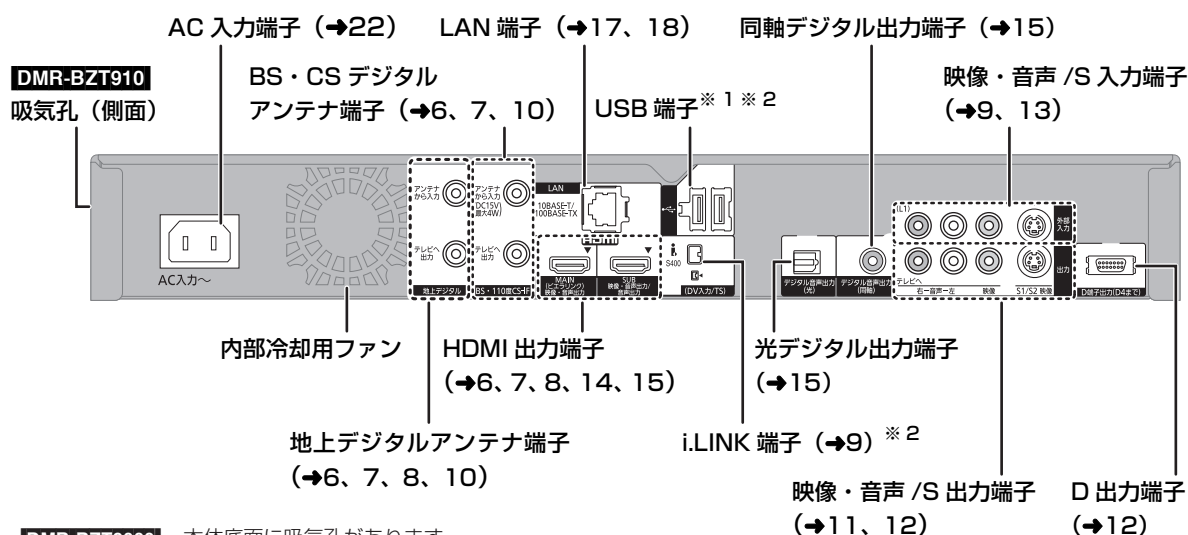
[⏻/I]を3秒以上押す

本機の電源が切れます。

故障かな !? と思った場合 ➜ **操作編 162**

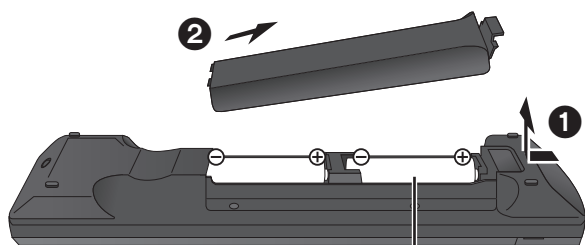
はじめに

本体背面

DMR-BZT9000 本体底面に吸気孔があります。

※1 接続する USB ケーブルの形状によって、背面端子に 2 つ同時に接続できない場合があります。
その場合、本体前面の USB 端子をご使用ください。

※2 USB 端子と i.LINK 端子は、本体前面にもあります。

リモコンの準備

電池を入れてください。

単3形アルカリ乾電池（付属）

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はアルカリ乾電池をお使いください。
  （マンガン乾電池も使用できますが、本機のリモコンは、タッチパッドを使用するため、従来のリモコンに比べて電池寿命が短くなります）
- 赤外線方式でリモコンをお使いの場合、本機のリモコン受信部（➜ **操作編 11**）に向けて、まっすぐ操作してください。（お買い上げ時は赤外線方式です）
- 電池交換をしてリモコンが動かなくなった場合、リモコン設定をお買い上げ時の状態に戻してください。（➜42）

接続1 テレビやアンテナと接続する

接続の前に
- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
（本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください）
- 各機器の説明書もご覧ください。

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

- **すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。**

本機の設置について

- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- 不安定な場所に設置しない。
- 重いものを上に載せない。
・[⏻/I] と [▲] は、触れるだけで働くタッチ方式のため、誤って触れないようにお気をつけください。

つゆつきについて
冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
- 「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビにBS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（➜ **表紙**）のある「High Speed HDMIケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
当社製HDMIケーブル
品番：RP-CDHS10（1.0 m）、RP-CDHS15（1.5 m）、RP-CDHS20（2.0 m）、RP-CDHS30（3.0 m）など
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。
接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

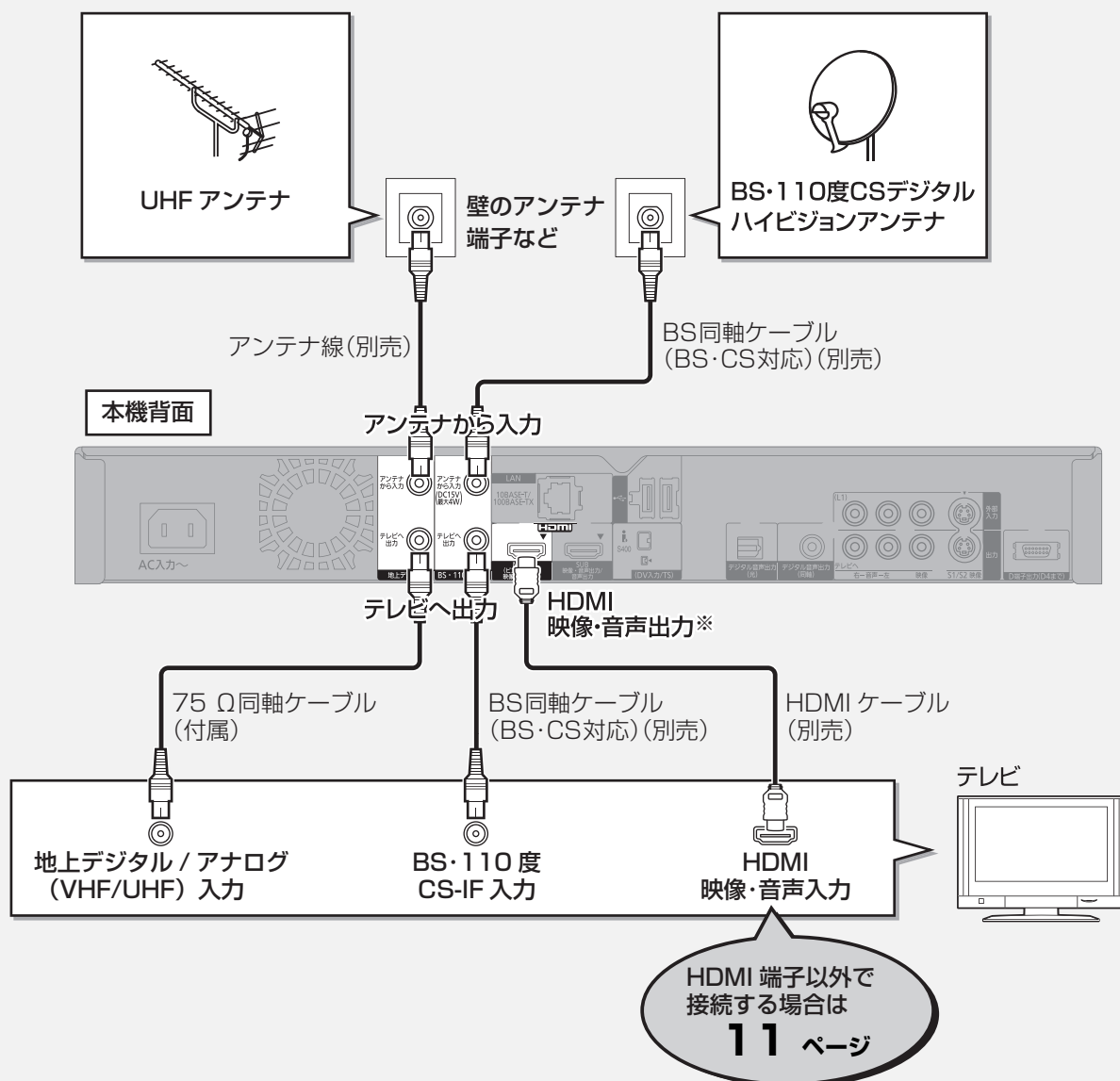
混合している複数の電波をBS･CSとUHF･VHFに分波します。

混合している複数の電波を本機とテレビなど複数の機器に分配します。

上記の接続では、テレビと本機の接続は、HDMI ケーブル（別売）を使用した接続を紹介しています。
HDMI ケーブルで接続すると、高画質・高音質の映像と音声で楽しむことができます。
さらに、ビエラリンク（HDMI）**（➜ 操作編 114）**に対応した当社製テレビ（ビエラ）と接続すると、連動操作が可能になります。

3D 映像を楽しむには…
3D 対応テレビとの接続は
HDMI 端子を使用してください

ホームページ
diga.jp
つなぎ方ナビゲーション
接続方法を分かりやすく説明しています。

HDMI 端子 以外でテレビと接続する場合は **11 ページ**

アンテナ端子が別々の場合

UHF アンテナ

壁のアンテナ端子など

BS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

アンテナ線（別売）

BS同軸ケーブル（BS･CS対応）（別売）

本機背面

アンテナから入力

テレビへ出力

HDMI 映像･音声出力※

75 Ω同軸ケーブル（付属）

BS同軸ケーブル（BS･CS対応）（別売）

HDMI ケーブル（別売）

テレビ

地上デジタル / アナログ（VHF/UHF）入力

BS･110 度 CS-IF 入力

HDMI 映像･音声入力

HDMI 端子以外で接続する場合は 11 ページ

※ HDMI（SUB）端子に接続した機器では、ビエラリンク（HDMI）機能は働きません。

アンテナ端子がひとつの場合

VHF/UHF･BS･CS混合

壁のアンテナ
端子など

アンテナ線(別売)

U･V

分波器
(別売)

CS･BS

BS同軸ケーブル
(BS･CS対応)(別売)

本機背面

アンテナから入力

テレビへ出力

HDMI
映像･音声出力※

75 Ω同軸ケーブル
(付属)

BS同軸ケーブル
(BS･CS対応)(別売)

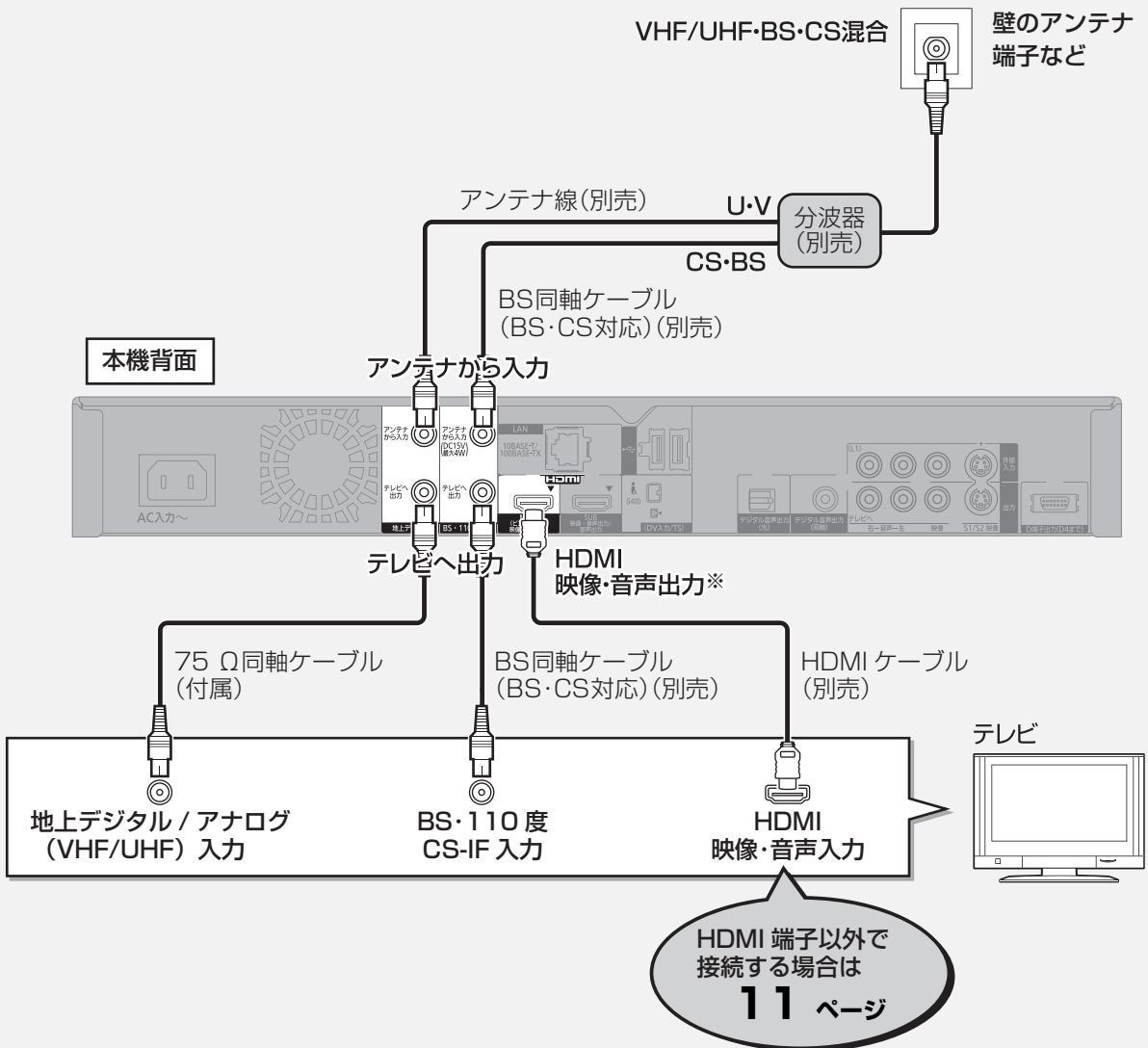
HDMI ケーブル
(別売)

テレビ

地上デジタル / アナログ
(VHF/UHF) 入力

BS･110 度
CS-IF 入力

HDMI
映像･音声入力

HDMI 端子以外で
接続する場合は
11 ページ

※ HDMI(SUB)端子に接続した機器では、ビエラリンク(HDMI)機能は働きません。

CATV（ケーブルテレビ）を利用している場合

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATV の地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式※1 の場合の接続を紹介しています。

※1 CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。

ケーブルテレビ端子

ケーブル入力

セットトップボックス

分配器（別売）

アンテナ線（別売）

アンテナ線（別売）

本機背面

アンテナから入力

テレビへ出力

HDMI映像・音声出力※2

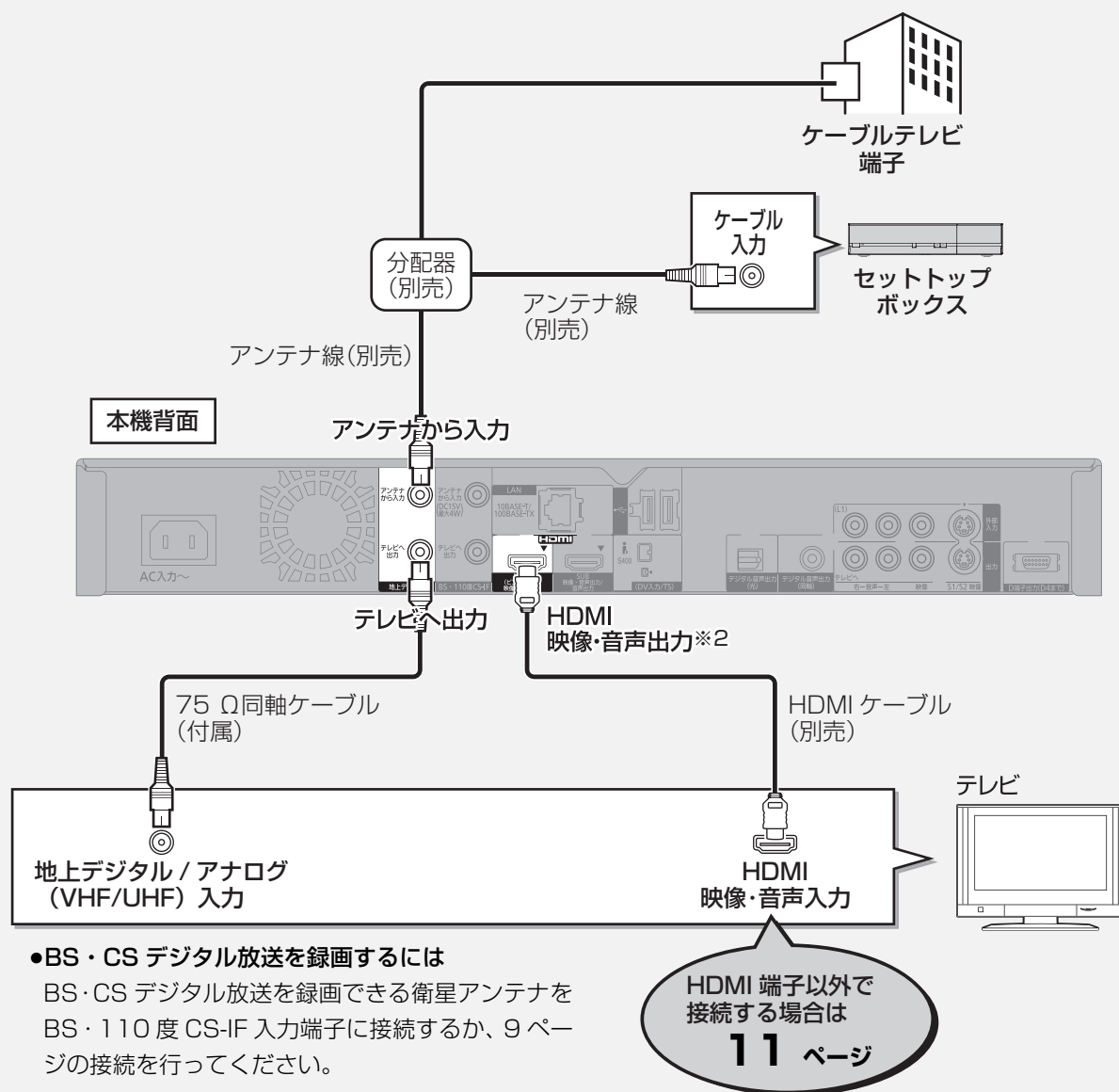
75 Ω同軸ケーブル（付属）

HDMIケーブル（別売）

テレビ

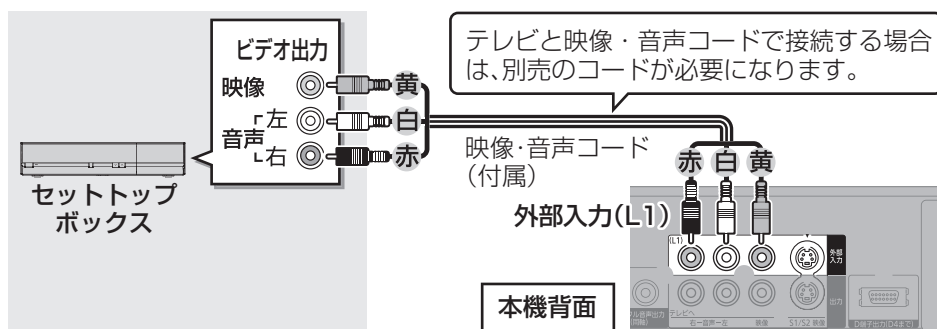
地上デジタル / アナログ（VHF/UHF）入力

HDMI映像・音声入力

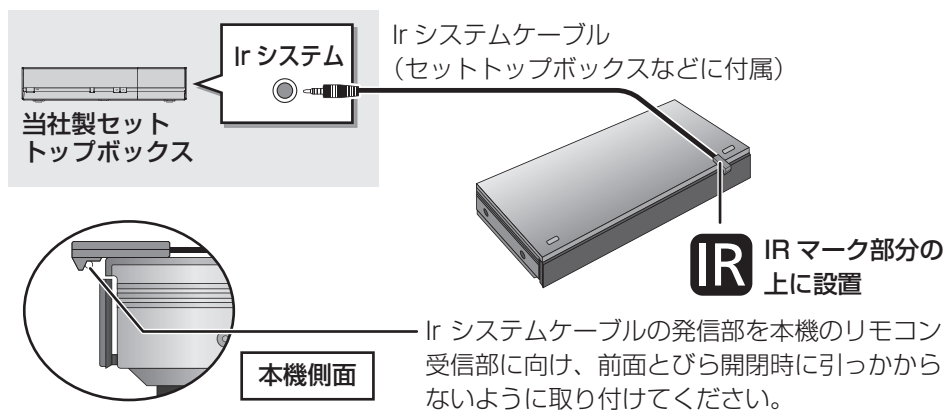
HDMI 端子以外で接続する場合は 11 ページ

- **BS・CS デジタル放送を録画するには**
  BS・CS デジタル放送を録画できる衛星アンテナを BS・110 度 CS-IF 入力端子に接続するか、9 ページの接続を行ってください。

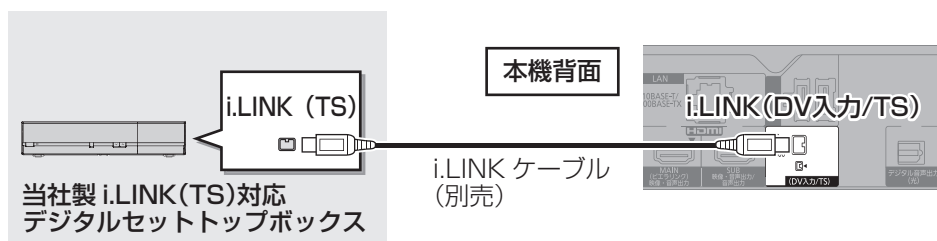
※2 HDMI（SUB）端子に接続した機器では、ビエラリンク（HDMI）機能は働きません。

パススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を録画するためには、下記の接続が必要です。

映像・音声コードで接続する

CATV から連動して予約録画するために

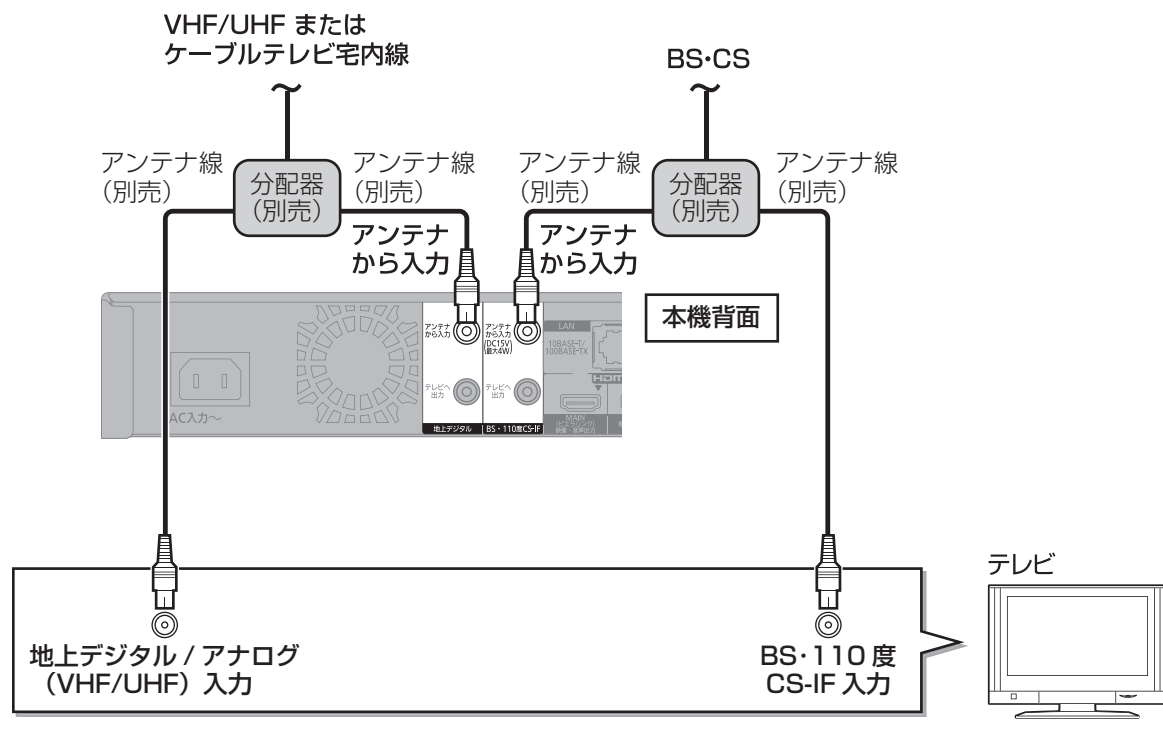
上記接続に加えて、Ir システムの接続をすると、CATV から予約録画の信号を本機のリモコン受信部に送り、連動操作することができます。（CATV のIrシステムがブルーレイディスクレコーダーに対応していない場合、予約録画できません）

Ir システムケーブルの設置例

i.LINKケーブルで接続する

- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。
- セットトップボックスが i.LINK 対応していない場合、予約録画できません。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

前面の i.LINK 入力端子に接続することもできます。

本機がエコ待機時にテレビを視聴する場合

エコ待機で電源を切る（➜ **操作編** 18）と、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。
ただし、**A** **B** **C** の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。

エコ待機を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。

お知らせ

- 分配器を使って本機とテレビに BS･110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

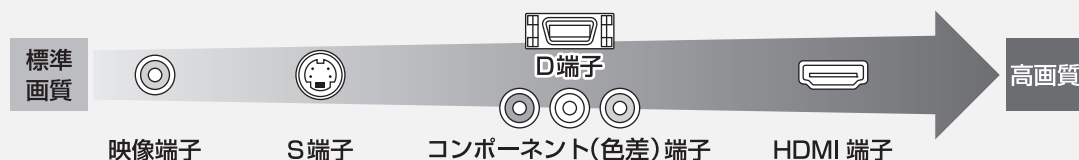
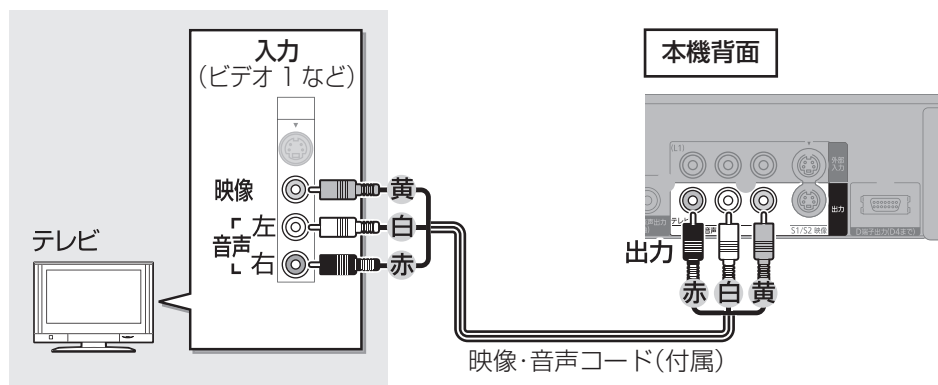
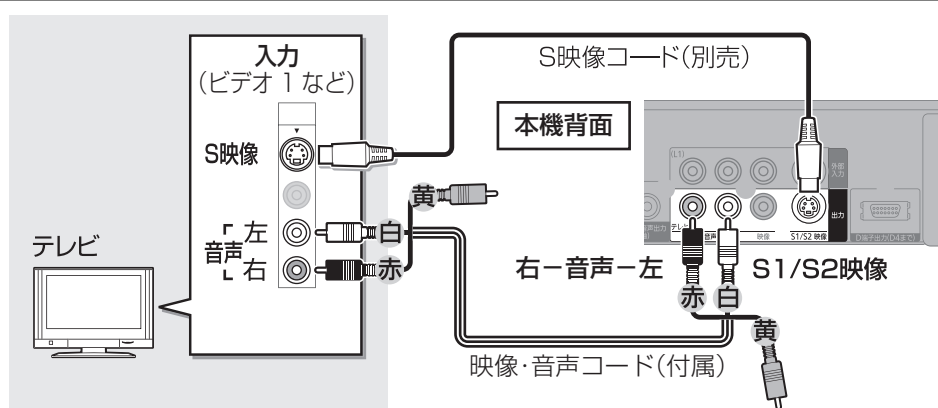
HDMI 端子以外でテレビと接続する

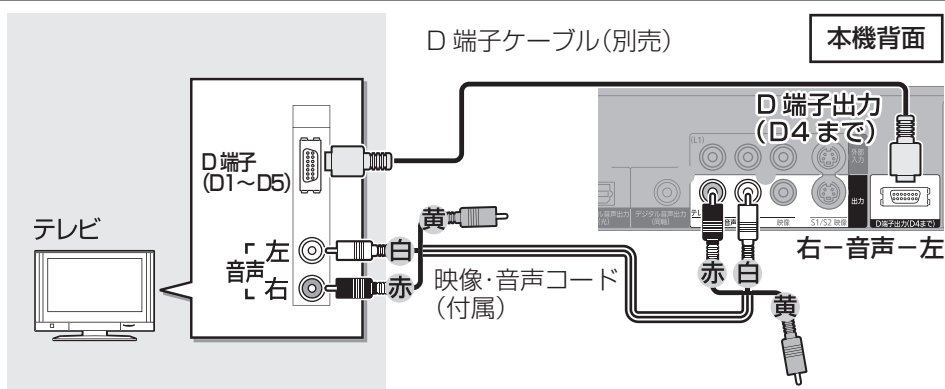
以下の端子を持つテレビに対応しています。

映像端子と接続する

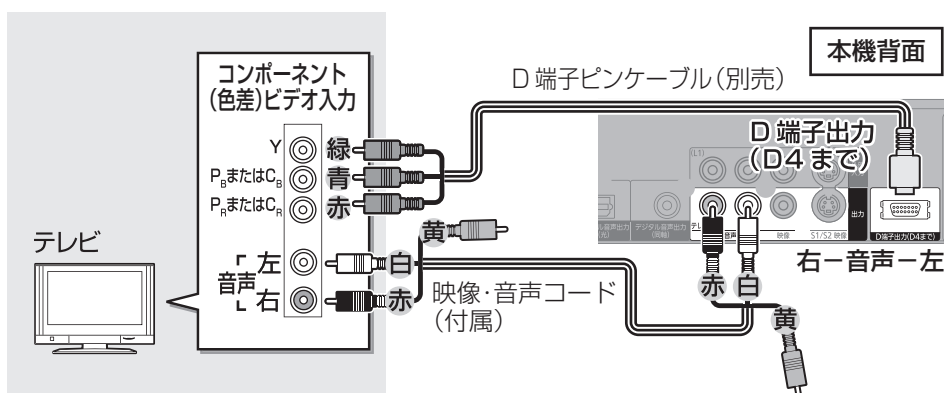
テレビ
入力
(ビデオ 1 など)
映像
音声 左
音声 右
黄
白
赤
本機背面
出力
赤 白 黄
映像・音声コード(付属)

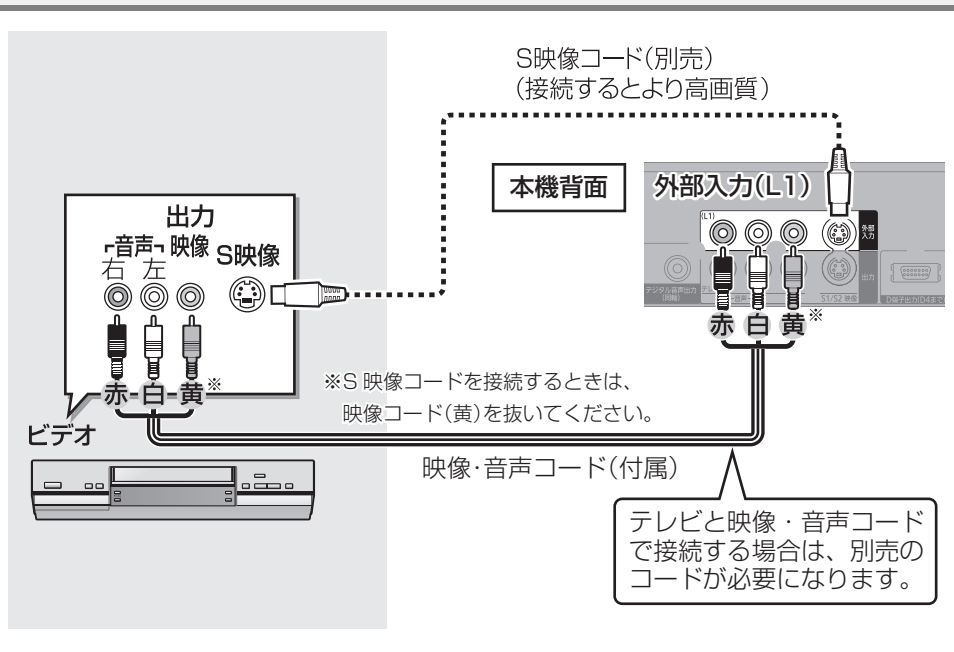
S 端子と接続する

テレビ
入力
(ビデオ 1 など)
S映像
音声 左
音声 右
S映像コード(別売)
本機背面
黄
白
赤
右－音声－左
S1/S2映像
赤 白
黄
映像・音声コード(付属)

HDMI 端子以外でテレビと接続する（続き）

D 端子と接続する

AACS（ブルーレイディスクの著作権保護技術）の運用ルールの制限により、本機では、D 端子からハイビジョン映像で出力されない場合があります。**(➜ 操作編 176)**

コンポーネント（色差）端子と接続する

入力端子の表示が図と異なるとき（Y/B-Y/R-Y など）は、同じ色の端子どうしを接続してください。

接続2 ビデオと接続する

●本機とテレビの間に、他のビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。

接続3 アンプと接続する

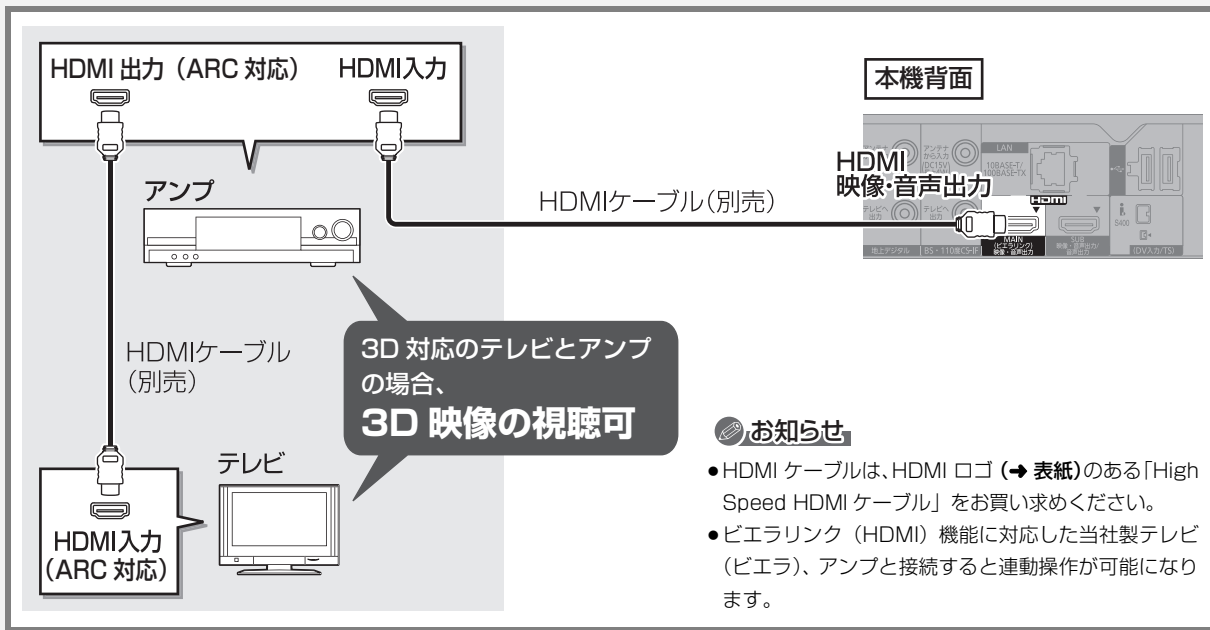
アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係（➜ 操作編 152）

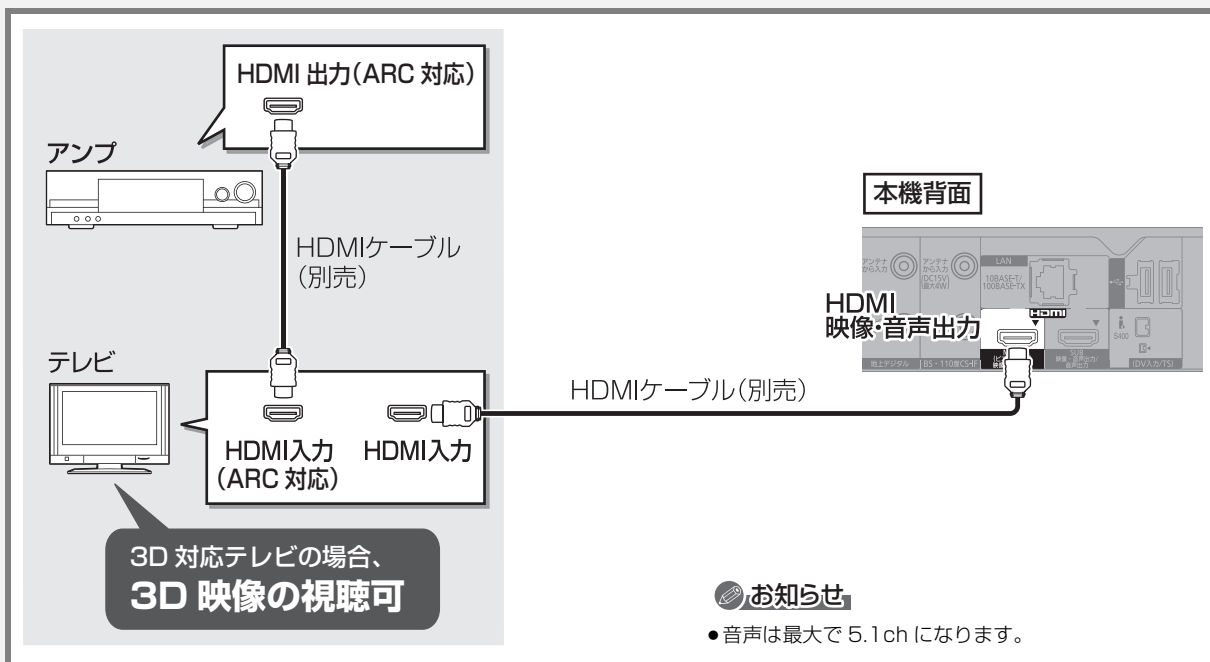
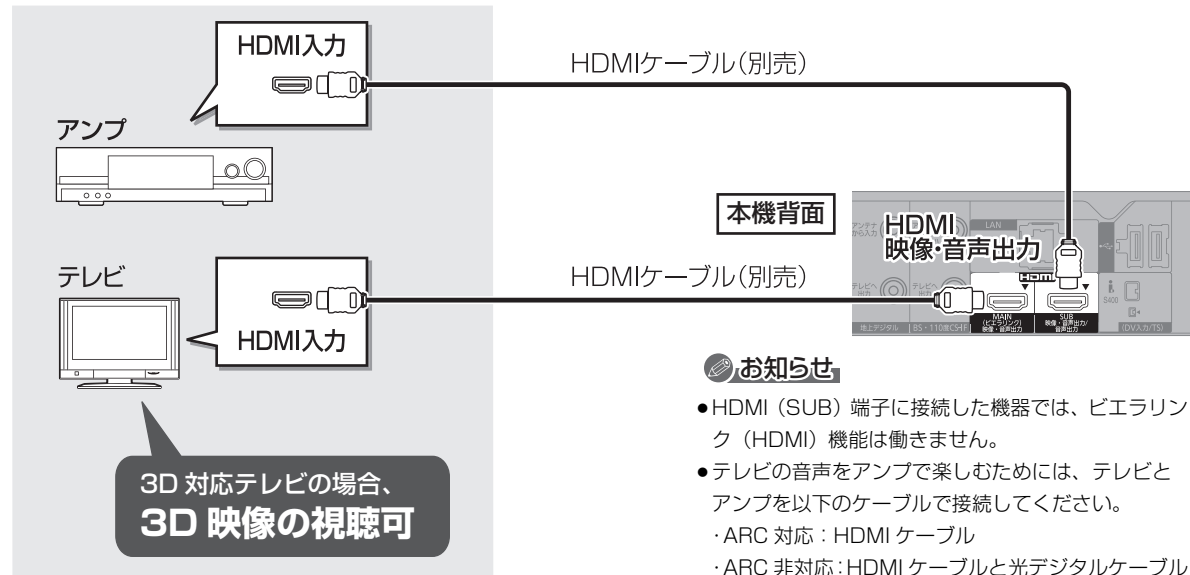
HDMI 端子で接続する

HDMI（MAIN）端子にアンプを接続してください。

お知らせ

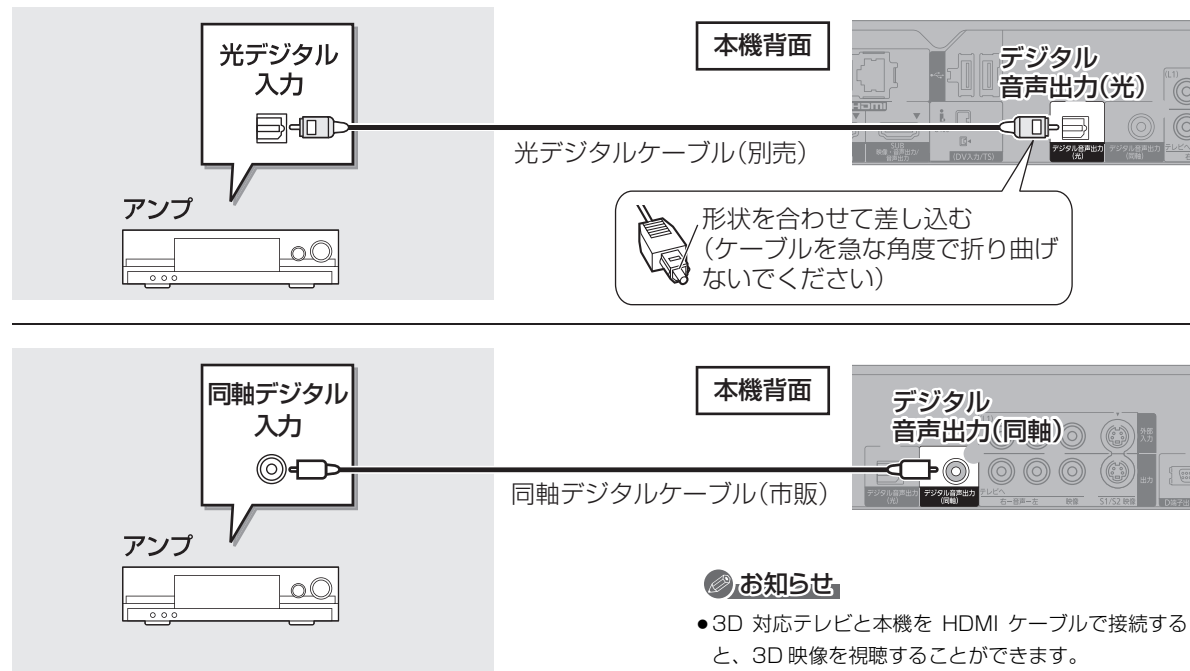
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（➜ 表紙）のある「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。
- ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）、アンプと接続すると連動操作が可能になります。

3D 非対応のアンプと接続して 3D 映像を視聴するには

お知らせ

- 音声は最大で 5.1ch になります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

より高音質でお楽しみになるには

●HDMI（MAIN）端子にテレビを、HDMI（SUB）端子にアンプを接続してください。
●「HDMI（SUB）出力モード」**（➜33）**を「音声専用」に設定してください。

お知らせ

●HDMI（SUB）端子に接続した機器では、ビエラリンク（HDMI）機能は働きません。
●テレビの音声をアンプで楽しむためには、テレビとアンプを以下のケーブルで接続してください。
・ARC 対応：HDMI ケーブル
・ARC 非対応：HDMI ケーブルと光デジタルケーブル

デジタル音声端子で接続する

光デジタル
入力

アンプ

本機背面

デジタル
音声出力(光)

光デジタルケーブル(別売)

形状を合わせて差し込む
(ケーブルを急な角度で折り曲げないでください)

同軸デジタル
入力

アンプ

本機背面

デジタル
音声出力(同軸)

同軸デジタルケーブル(市販)

お知らせ

●3D 対応テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像を視聴することができます。

接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
接続後は、かんたんネットワーク設定（➜27 ～ 31）を行ってください。

テレビでインターネットを楽しむ (インターネット使用)	アクトビラのサービスなどを楽しむことができます。（➜ **操作編 124 ～ 126**） ●アクトビラについて詳しくは下記ホームページをご覧ください。 http://actvila.jp/
1ヵ月の番組表や注目番組を受信する (インターネット使用)	1ヵ月の番組表や注目番組を受信できるようになります。 （2011 年 7 月現在、1ヵ月の番組表は WOWOW、注目番組は NHK、WOWOW のみ対応）
BD-Live 対応のディスクを楽しむ (インターネット使用)	特典映像の再生など様々な機能を楽しむことができます。（➜ **操作編 60**）
CD タイトルを自動で取得 (インターネット使用)	音楽 CD のタイトルやアーティスト情報などを自動的に取得できます。 （➜ **操作編 103**）
デジタル放送の情報サービスの利用 (インターネット使用)	デジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。
外出先から録画予約/録画番組の詳細情報を見る (インターネット使用)	外出先から携帯電話やパソコンで自宅にある本機を操作（ブロードバンドレシーバー機能）して録画予約などができます。 ミモーラに加入すると、携帯電話やパソコンから録画した番組の詳細情報を確認して、見たいシーンから本機で再生するように指示することもできます。 ●ブロードバンドレシーバー設定（➜47）が必要です。 ●対応サービスへの加入が必要です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。 **パナソニック株式会社　テレビ番組情報ウェブサービス** **ディモーラ：http://dimora.jp/** **ミモーラ：http://me-mora.jp/** **株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド** **PC の場合　http://ipg.jp/ra** **携帯電話の場合　http://ipg.jp/k**
写真を送受信する (インターネット使用)	写真の送受信に対応したレコーダー同士で、写真の送受信を行うことができます。 （➜ **操作編 100**）
自宅のパソコンから録画などの操作	家庭内ネットワークに接続されているパソコンなどから本機を操作して録画予約などができます。（➜ **操作編 127**） ●ブロードバンドレシーバー設定（➜47）が必要です。
スカパー！HD 録画	スカパー！HD 対応のチューナーからハイビジョン番組をそのままの画質で録画できます。（➜ **操作編 85**）

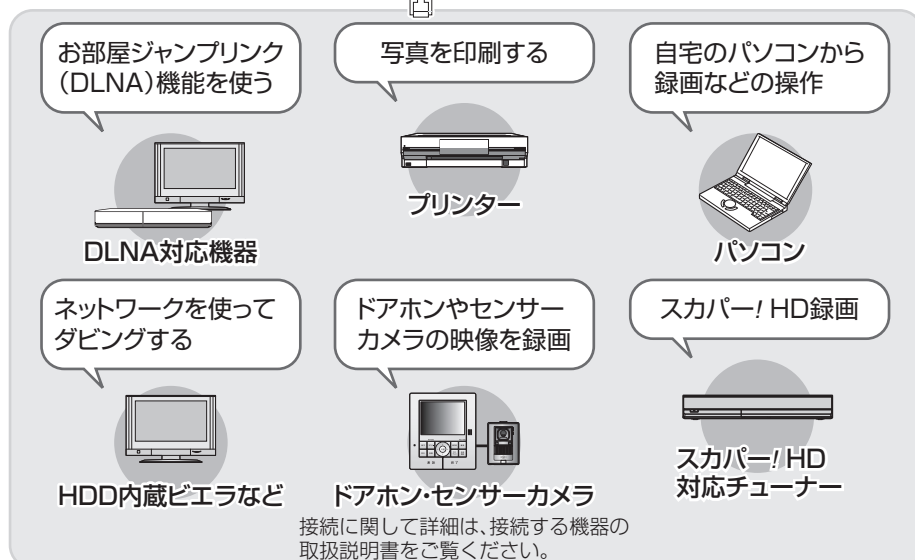
ネットワークを使ってダビングする	HDD 内蔵の当社製ビエラやセットトップボックスなどの HDD に録画した番組を、本機の HDD にダビングすることができます。**(➜ 操作編 94)**
お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能を使う	DLNA 対応機器から本機の HDD にある番組などを再生することができます。また、本機から DLNA 対応機器の HDD にある番組などを再生することができます。**(➜ 操作編 128)** DLNA 対応のモバイル機器へ持ち出し番組をネットワーク経由で転送することができます。**(➜ 操作編 119)** ●当社製 DLNA 対応機器の最新情報については、当社ホームページ（diga.jp）をご覧ください。
写真を印刷する	本機で再生できる写真をプリンターで印刷できます。**(➜ 操作編 102)** ●ネットワークプリンターの接続設定（➜49）が必要です。
ドアホンやセンサーカメラの映像を録画	ドアホンやセンサーカメラからの映像を録画できます。**(➜ 操作編 122)** ●ドアホン・センサーカメラの接続設定（➜48）が必要です。

お知らせ

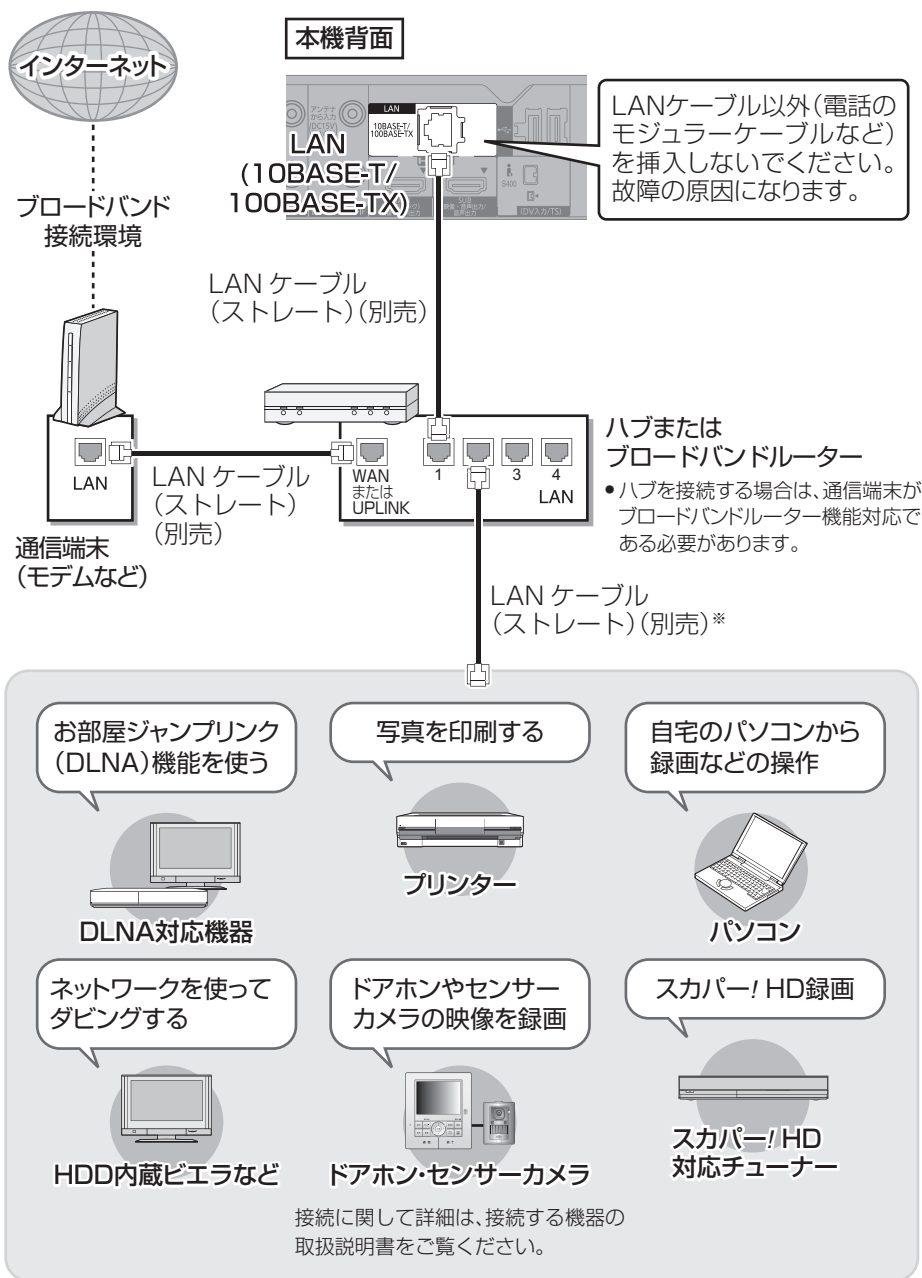
- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
  それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

LANケーブルを使って各機器と直接接続する

有線

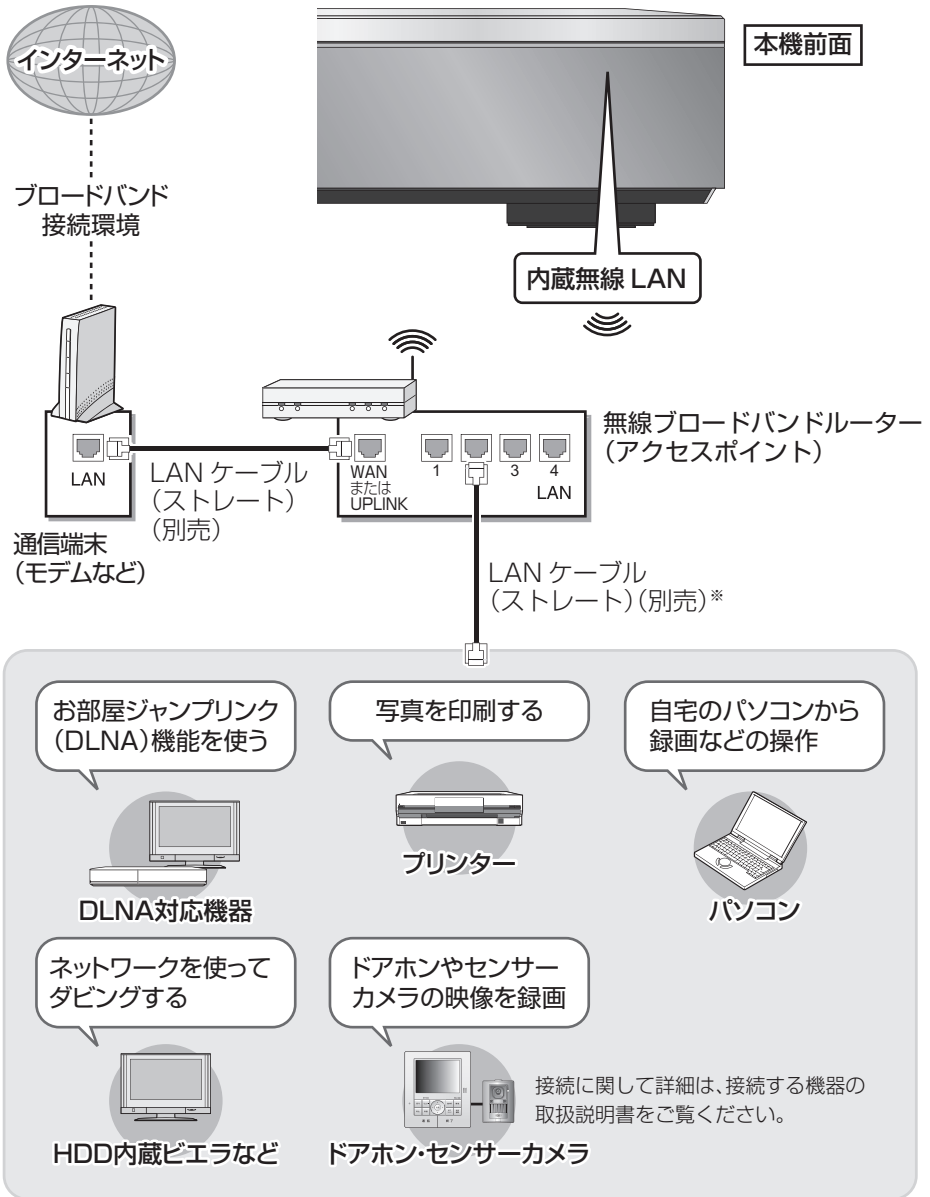
以下の機器を接続する場合、本機と LAN ケーブルで直接接続することもできます。
（LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません）

- インターネットを使用するサービスや機能は、この接続では利用できません。
  18、19 ページの接続を行ってください。

LANケーブルを使って接続する

有線

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

無線 LAN を使って接続する

無線

接続に関して詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。　http://panasonic.jp/support/bd/
- スカパー! HD 対応チューナーは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使っての接続をお勧めします。(➔17、18)

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。
- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。無線接続の場合、802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。必要な情報については下記サポート情報ホームページをご覧ください。

本機を操作できるパソコン（2011 年 7 月現在）

OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/
Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate
www ブラウザ：
Internet Explorer® 6.0 以上

動作確認済みのパソコンや携帯電話などの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
（携帯電話からはご利用いただけません）
http://panasonic.jp/support/bd/

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - ・他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し（➜47）、再設定してください。
  - ・第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。（➜16）
- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- ブロードバンドレシーバー機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

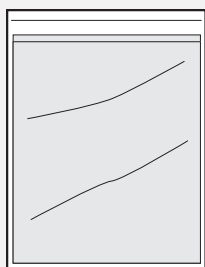
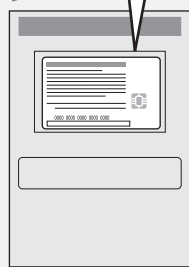
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

接続5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

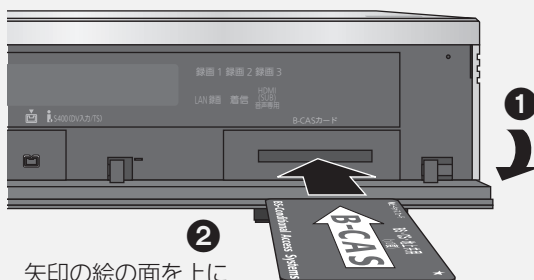
●B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってあるシートの説明をご覧ください。

B-CAS カード
シートからはがしてお使いください。

取扱説明書が入った袋

B-CAS カードが貼られた台紙

●B-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（➜ **操作編 184**）などに控えておいてください。
●本機でも番号を確認できます。（➜ **操作編 133**）

お問い合わせは（紛失時など）
（株）ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

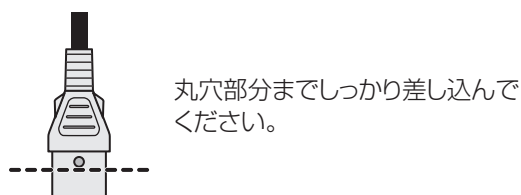
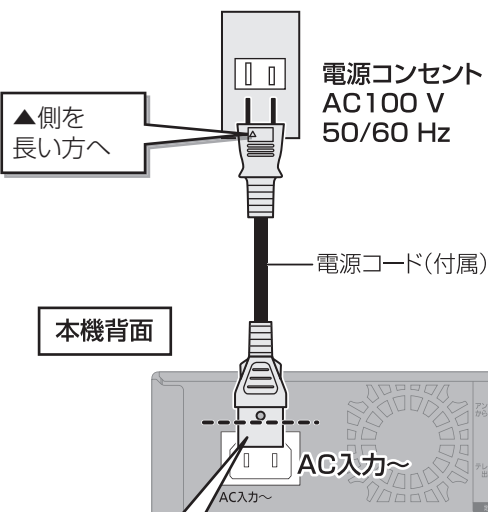
挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、B-CAS カードを奥まで差し込む

お知らせ

●カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、引き抜いてください。
●B-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

接続6 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

**電源コードは、本機専用ですので、
他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に
使用しないでください。**

長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。**(電源「切」時の消費電力 ➜ 操作編 167)**

●電源コードを抜いている場合：
- ·自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得（➜**45**）はできません。
- ·テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

お知らせ

●**極性表示について**

アンプなどを接続される場合、電源コードのプラグにある▲側を電源コンセントの差し込み口の長い方に合わせて差し込むと良い音質が得られるときがあります。(ご家庭の電源コンセントによっては、差し込み口の一方が長くなっていないものもありますが、その場合はどちらの向きに差し込んでも問題ありません)
テレビでの視聴などの一般的なご使用では、極性を合わせる必要はありません。

基本の操作

本機の映像をテレビに映す

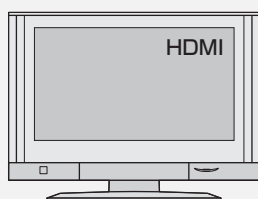
1 テレビの電源を入れる

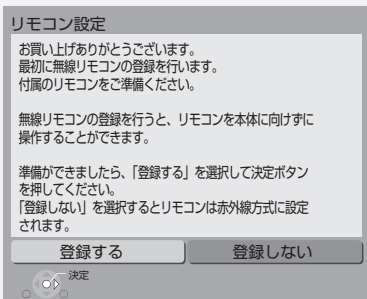
2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

●本機を接続した入力に切り換えてください。
（HDMI、ビデオ 1 など）

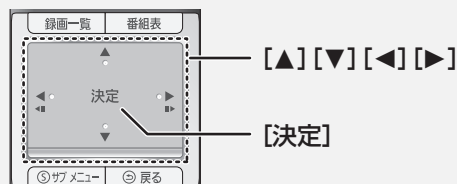
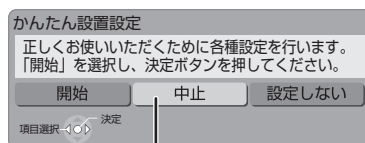
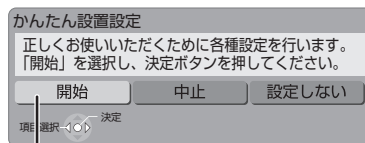
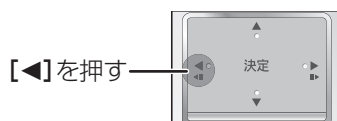
3 本機のリモコンの **を押す**

本体表示窓

または

チャンネル表示

●テレビに映像が映っているか確認してください。
●お買い上げ時には、下記の画面が表示されます。
（➜24 手順 2 へ）

リモコン設定画面が表示されない場合は、本機の電源を一度、切 / 入してください。

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押すことで操作を行います。

例えば、かんたん設置設定を開始する場合

「開始」の操作が実行されます。

本書では、上記のような操作をする場合、
「開始」を選び、[決定] を押す
と記載しています。

接続
設定

設定1 リモコン設定をする

初めて電源を入れたときに自動的に「リモコン設定」の画面が表示されます。
本機では、リモコンの受信方式を「無線方式」か「赤外線方式」のどちらかに設定することができます。

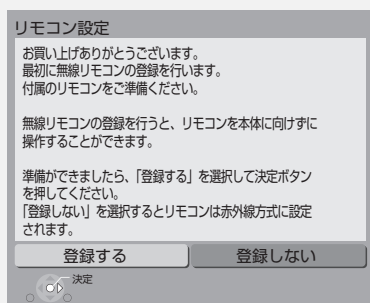
「無線方式」にすると、以下のようになります。
- ●リモコンを本機に向けずに操作できる
- ●タッチパッドでフリック操作ができるようになる（➜ 操作編 19）
- ●登録したリモコンからのみ操作できる
  - ･本機が他のリモコンからの影響を受けなくなる
  - ･本機のリモコン操作が他の機器に影響しなくなる

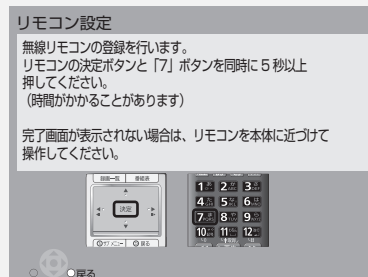
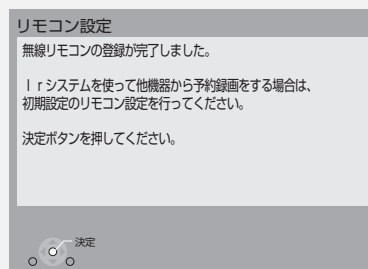
☞ 無線方式リモコンの使用上のお願い（➜ 操作編 158）

設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

1 リモコンの を押して、電源を入れる

2 「登録する」または「登録しない」を選び、［決定］を押す

- ●「登録する」は無線方式、「登録しない」は赤外線方式になります。

- ●「登録しない」を選んだ場合、「かんたん設置設定」に進んでください。（➜25）
- ●上記画面が表示されない場合は、お知らせ（➜ 右記）をご覧ください。

3 リモコンを本体に近づけて［決定］と［7 まPQRS］を同時に 5 秒以上押す

4 ［決定］を押す

Ir システム（➜9）をお使いになる場合、「他機器連携（Ir システム）」（➜42）の設定が必要です。

リモコン登録終了後、引き続き「かんたん設置設定」（➜25）を行うことができます。

☞ リモコン設定を変更するには（➜42）

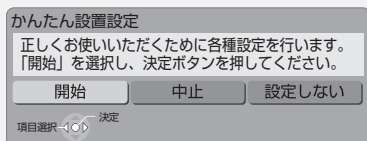
お知らせ

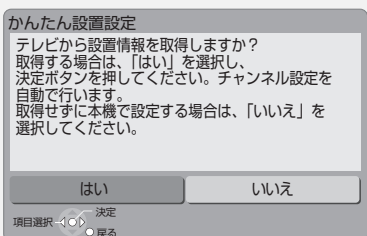
- ●テレビに映像が映らない場合は
  - ･テレビの入力を確認してください。（➜23「本機の映像をテレビに映す」）
  - ･接続を確認してください。（➜4 ～ 22）
  - ･テレビの HDMI 端子または D1 か D2 映像入力端子に接続している場合は、以下の操作を行うと映像が映ります。
    ①［決定］と［青］と［黄］を同時に5秒以上押す
    ･本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
    ② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで、［▶］を数回押す
    ③［決定］を 3 秒以上押す

  ☞ 設定を中止するには
  ［戻る］を押す
- ●リモコンが働かない場合は（➜ 操作編 164）

設定2 かんたん設置設定をする

「リモコン設定」（➔24）のあと

「開始」を選び、［決定］を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

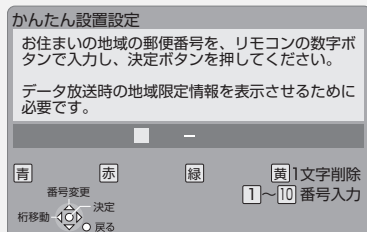
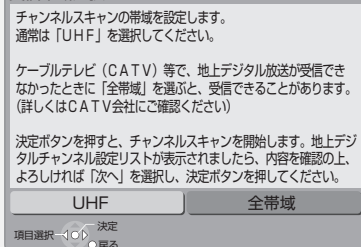
- ビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビと HDMI ケーブルで接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。

設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

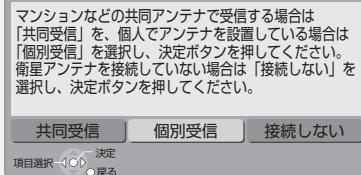
地域設定

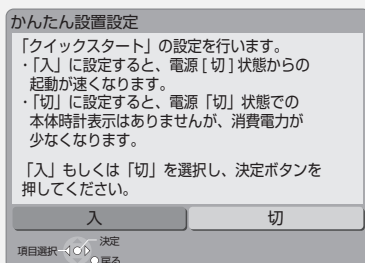
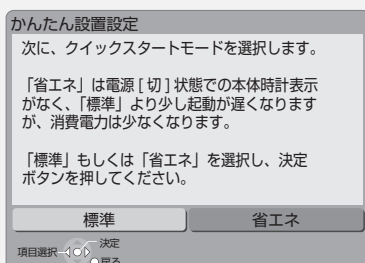
お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。

地上デジタル放送チャンネルの設定

地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認　アッテネーター　切

Po	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	NHK総合・東京	テレビ	80	高
2	021	NHKEテレ東京	テレビ	80	高
3	----	----			
4	041	日本テレビ	テレビ	80	高
5	051	テレビ朝日	テレビ	80	高
6	061	TBS	テレビ	80	高
7	071	テレビ東京	テレビ	80	高
8	081	フジテレビジョン	テレビ	80	高
9	091	TOKYO MX	テレビ	80	高
10	----	----			
11	----	----			
12	121	放送大学	テレビ	80	高

ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する／確認する」を選んでください。**（➔39「マニュアル」）**

衛星アンテナ設定

「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入（オン）」にする設定をしてください。

クイックスタートの設定

「入」を選んだ場合、「標準」または「省エネ」を選んでください。

●「ビエラリンク録画待機」の設定画面が表示された場合、「入」を選んでください。

クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

●待機時消費電力が増えます。

●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、**[電源 ⏻]** 以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。）

●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。

●クイックスタートモードを「標準」に選んだ場合、テレビと HDMI 端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が働かないときがあります。

かんたん設置設定終了後、引き続き「かんたんネットワーク設定」（➜27）を行うことができます。

かんたん設置設定をやり直す

引っ越しをした場合や、設置後テレビ受信ができない場合など、以下の手順でかんたん設置設定をやり直すことができます。

❶ **[スタート] を押す**

❷ **「放送設定」を選び、[決定] を押す**

●表示がない場合は ［⏮］［⏭］ でページを切り換えてください。

❸ **「かんたん設置設定」を選び、[決定] を押す**

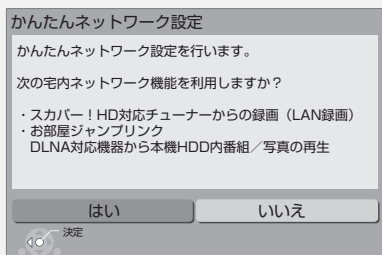
お知らせ

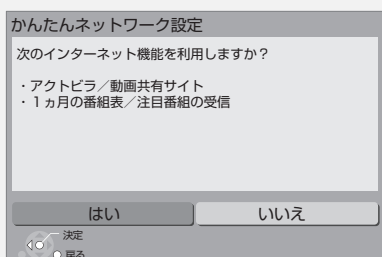
●デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、時刻合わせを行ってください。（➜45）

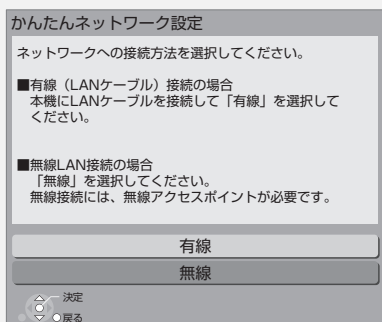
設定3 かんたんネットワーク設定をする

基本操作 選び 決定する

「かんたん設置設定」(➜25 ～ 26)のあと

1 「はい」または「いいえ」を選び、[決定] を押す

2 「はい」または「いいえ」を選び、[決定] を押す

例)

手順 1、2 で「はい」を選んだ場合のみ

3 「有線」または「無線」を選び、[決定] を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

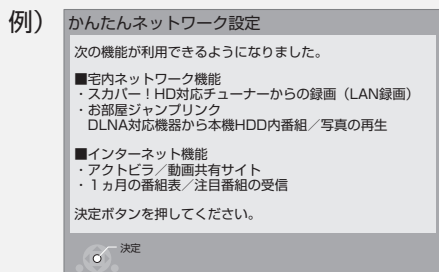
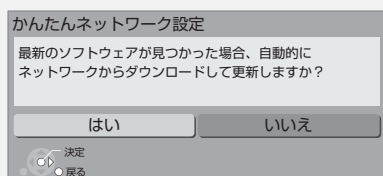
お知らせ

- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク(DLNA)/スカパー!HD 録画設定」(➜46)を行ってください。
- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、待機時の消費電力が増えます。

設定

設定3 かんたんネットワーク設定をする（続き）

有線で接続する場合

接続確認を行います。

例）

かんたんネットワーク設定

次の機能が利用できるようになりました。

■宅内ネットワーク機能
・スカパー！HD対応チューナーからの録画（LAN録画）
・お部屋ジャンプリンク
　DLNA対応機器から本機HDD内番組／写真の再生

■インターネット機能
・アクトビラ／動画共有サイト
・１ヵ月の番組表／注目番組の受信

決定ボタンを押してください。

決定

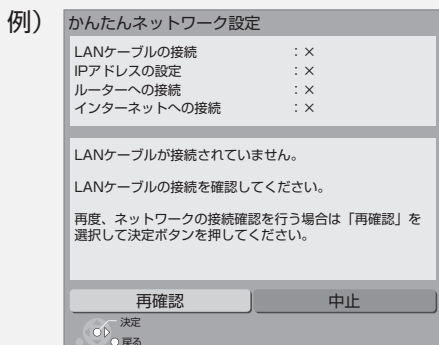
以下のような画面が表示された場合

「はい」を選ぶと、ネットワークを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認やソフトウェアの更新を自動的に行うようになります。

- 本機のソフトウェア更新には、デジタル放送を利用した方法（オンエアーダウンロード）とネットワークを利用した方法があります。
  (➜ 操作編 149「ソフトウェアの更新について」)

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例）

「×」の表示が出た場合

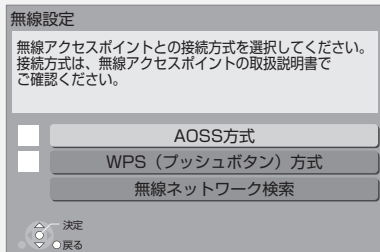
<table>
<tr><th>表示</th><th>ここを確認してください</th></tr>
<tr><td>LAN ケーブルの接続：×
IP アドレスの設定：×
ルーターへの接続：×
インターネットへの接続：×</td><td>LAN ケーブルの接続
(➜18)</td></tr>
<tr><td>LAN ケーブルの接続：○
IP アドレスの設定：×
ルーターへの接続：×
インターネットへの接続：×</td><td>●ハブやルーターの接続と設定
●「IP アドレス」の確認
(➜ 操作編 147)</td></tr>
<tr><td>LAN ケーブルの接続：○
IP アドレスの設定：○
ルーターへの接続：×
インターネットへの接続：×</td><td>●ハブやルーターの接続と設定
●「IP アドレス」の確認
(➜ 操作編 147)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">LAN ケーブルの接続：○
IP アドレスの設定：○
ルーターへの接続：○
インターネットへの接続：×</td><td>「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時
●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。
●「プロキシサーバー設定」(➜ 操作編 148)やルーターなどの設定</td></tr>
<tr><td>「サーバーが見つかりません（B019）」表示時
●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定 (➜ 操作編 147)
●ルーターなどの設定</td></tr>
</table>

- インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「－」が表示されます。

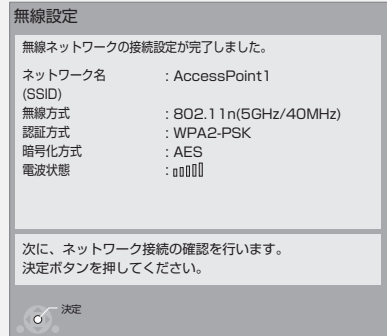
無線で接続する場合

27 ページ手順 3 のあと

画面の指示に従って設定を行ってください。

接続方式の選択

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がAOSS[TM]やWPS（Wi-Fi Protected Setup[TM]）に対応している場合は、「AOSS方式」または「WPS（プッシュボタン）方式」を選ぶと、簡単に設定することができます。
対応していない場合は「無線ネットワーク検索」を選び、設定してください。

- AOSS[TM]、WPS とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線ネットワークの接続確認

無線ネットワークの接続に失敗した場合

表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	●しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側のMACアドレスなどの設定 ●電波が弱いことが考えられます。本機の位置や角度を調節してください。 ●無線設定のネットワーク名（SSID）や暗号化キー ●しばらく待ってから、再度実行してください。
認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	
デバイスエラーが発生しました。	●再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
無線ネットワークに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。

設定

接続確認

接続確認を行います。

例）

かんたんネットワーク設定
次の機能が利用できるようになりました。
■宅内ネットワーク機能
・スカパー！HD対応チューナーからの録画（LAN録画）
・お部屋ジャンプリンク
　DLNA対応機器から本機HDD内番組／写真の再生
■インターネット機能
・アクトビラ／動画共有サイト
・1ヵ月の番組表／注目番組の受信
決定ボタンを押してください。
決定

以下のような画面が表示された場合

「はい」を選ぶと、ネットワークを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認やソフトウェアの更新を自動的に行うようになります。

●本機のソフトウェア更新には、デジタル放送を利用した方法（オンエアーダウンロード）とネットワークを利用した方法があります。
（➜ 操作編 149「ソフトウェアの更新について」）

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例）

「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **（➜ 操作編 147）**
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **（➜ 操作編 147）**
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」**（➜ 操作編 148）**やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定 **（➜ 操作編 147）** ●ルーターなどの設定

●インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「－」が表示されます。

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定（➜29）の画面で「電波状態」のインジケーターが４つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定（➜31）を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能（➜46）をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

かんたんネットワーク設定をやり直す

以下の手順でかんたんネットワーク設定をやり直すことができます。

❶ **スタート を押す**

❷ **「初期設定」を選び、［決定］を押す**
- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

❸ **「かんたんネットワーク設定」を選び、［決定］を押す**

お知らせ

- かんたんネットワーク設定をやり直すと、スカパー！HD の登録済みの予約は、正しく実行されなくなる場合があります。設定前に、登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

かんたん設定終了後に

「かんたん設置設定」「かんたんネットワーク設定」を行ったあと、以下の場合は、指定の設定を行ってください。

症状	場合	設定
映像が粗い	テレビとD端子で接続し、アンプなどとHDMI端子で接続している場合	「HDMI映像優先モード」を「切」に設定（➜33）
	接続したテレビのD端子が「D4」の場合	「D端子出力解像度」を設定（➜34）
音声が出ない	テレビとHDMI端子で接続し、アンプなどとデジタル音声端子で接続している場合	「HDMI音声出力」を「切」に設定（➜33）
テレビ画面の左右に黒帯が表示される	接続しているテレビが4:3標準テレビの場合や、左右の黒帯をなくして表示したい場合	「TVアスペクト」を設定（➜35）
放送が受信できない	ふだん見ている番組が見られない場合	「チャンネル設定」を修正（➜38）
放送の映りが悪い	アンテナの入力レベルが正常か確認する場合	「受信アンテナ設定」を確認（➜36）
	電波が強すぎて映像が不安定になる場合	「アッテネーター」を切り換える（➜36）
リモコンを使うと他機器が同時に動作する	複数の当社製機器を使う場合	「リモコン設定」（➜42）

接続した端子に合わせて設定する

1 スタート **を押す**

2 **「初期設定」を選び、[決定] を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

HDMI 映像優先モード

テレビと D 端子で接続し、HDMI 端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

上記手順 1 ～ 2 のあと

3 **「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「HDMI 接続」を選び、[決定] を押す**

5 **「HDMI 映像優先モード」を選び、[決定] を押す**

6 **「入」または「切」を選び、[決定] を押す**

HDMI 音声出力

テレビと HDMI 端子で接続し、デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

上記手順 1 ～ 2 のあと

3 **「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「HDMI 接続」を選び、[決定] を押す**

5 **「HDMI 音声出力」を選び、[決定] を押す**

6 **「入」または「切」を選び、[決定] を押す**

HDMI(SUB)出力モード

テレビと HDMI（MAIN）端子で接続し、アンプと HDMI（SUB）端子で接続しているときのみ、「音声専用」に設定してください。

左記手順 1 ～ 2 のあと

3 **「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「HDMI 接続」を選び、[決定] を押す**

5 **「HDMI（SUB）出力モード」を選び、[決定] を押す**

6 **「ノーマル」または「音声専用」を選び、[決定] を押す**

手順 6 で「音声専用」を選んだ場合

7 **[決定] を押す**

8 **「はい」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

- 3D 非対応のアンプを HDMI（SUB）端子に接続している場合、「ノーマル」に設定していると、アンプの電源「入」時は 3D 映像での再生はできません。
- アンプを HDMI（SUB）端子に接続し、「音声専用」に設定している場合、テレビから音声は出力されない場合があります。

接続した端子に合わせて設定する（続き）

D 端子出力解像度

テレビとD端子またはコンポーネント端子で接続しているときに設定してください。

33 ページ手順 1 ～ 2 のあと

3 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定」を選び、[決定] を押す

4 「D 端子出力解像度」を選び、[決定] を押す

5 テレビの端子に合わせて項目を選び、[決定] を押す

- テレビの端子に記載されている数字に合わせてください。

6 「はい」を選び、[決定] を押す

7 「はい」を選び、[決定] を押す

- 「HDMI 映像優先モード」を「入」にして HDMI 端子からも映像を出力している場合は、設定にかかわらず 480i で出力します。
- 「D3」、「D4」に設定したときの DVD ビデオの映像または外部入力、DV 入力からの映像について
  - ・始めの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりしますが、故障ではありません。
  - ・480p で出力します。（HDMI端子と接続していないとき、または、「HDMI 映像優先モード」が「切」に設定されているとき）
- ハイビジョン映像で出力されない場合
  （➜ 操作編 164）

コンポーネント（色差）端子と接続時の推奨設定

テレビのコンポーネント（色差）端子が対応している信号方式	推奨設定
480i	D1
480i 、480p	D2
480i 、480p 、1080i	D3
480i 、480p 、1080i 、720p 、1080p	D4

D 端子映像出力

D 端子からの映像の出力方法を設定します。

33 ページ手順 1 ～ 2 のあと

3 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定」を選び、[決定] を押す

4 「D 端子映像出力」を選び、[決定] を押す

5 「入」または「オート」を選び、[決定] を押す

入　：「オート」に設定していて D 端子接続時に映像が出力されない場合、「入」にしてください。

オート：D 端子に接続しているときのみ映像を出力するので、消費電力の節電になります。

手順 5 で「オート」を選んだ場合

6 「はい」を選び、[決定] を押す

7 「はい」を選び、[決定] を押す

テレビ画面の横縦比を変更する

基本操作　選び　決定する

1 スタート **を押す**

2 「初期設定」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定」を選び、[決定] を押す

4 「TV アスペクト」を選び、[決定] を押す

5 テレビタイプに合わせて項目を選び、[決定] を押す

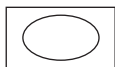
4：3　　:4:3 標準テレビに接続しているとき

4:3 の映像は、そのまま表示

16：9　：ワイドテレビに接続しているとき

4:3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示

16：9 フル: ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4:3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示

その他の設定

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、[サブ メニュー] を押して、「デジタル放送メニュー」の「アンテナレベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 スタート **を押す**

2 「放送設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、[決定] を押す

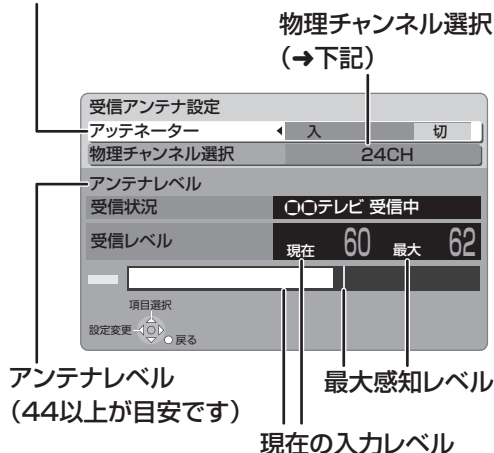
4 「受信アンテナ設定」を選び、[決定] を押す

5 修正したい放送を選び、[決定] を押す

(➜ 右記または 37 ページへ)

地上デジタル

左記手順 1 ～ 5 のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」(➜26) をやり直してください。
  ･アッテネーターを切り換える
  ･ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す
  状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

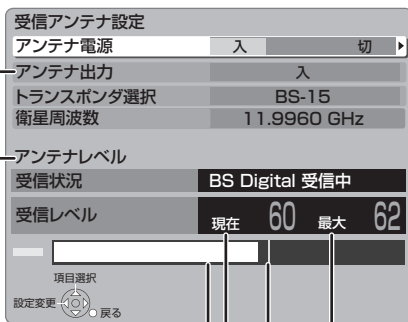
衛星

36 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力
- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS·110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。

アンテナレベル（50以上が目安です）

最大感知レベル

現在の入力レベル

☞「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110 度 CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

受信チャンネルを修正する

1 スタート **を押す**

2 「放送設定」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、[決定] を押す

4 「チャンネル設定」を選び、[決定] を押す

5 修正したい放送を選び、[決定] を押す

(BS、CS1、CS2 の場合 ➜39 ページへ)

6 (地上デジタルのみ)

修正する方法を選び、[決定] を押す

(➜ 右記または 39 ページへ)

地上デジタル　初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 〜 6 のあと

7 お住まいの地域を選び、[決定] を押す

8 受信帯域を選び、[決定] を押す

9 正しく設定されていることを確認したあと、戻る **を押す**

地上デジタル　再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 〜 6 のあと

7 正しく設定されていることを確認したあと、戻る **を押す**

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定			
Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

38 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行（Po）を選び、[決定] を押す

8 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

9 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ替えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定			
Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

38 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 修正したい行（Po）を選び、[決定] を押す

7 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

8 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ替えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

お知らせ

- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、お手持ちのパソコンから以下のホームページでご覧いただけます。
  ① http://panasonic.jp/support/bd/manual/ を開く
  ②「同意する」→「DMR-BZT910/DMR-BZT9000」→「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

地域設定を修正する

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

1 スタート **を押す**

2 **「放送設定」を選び、[決定] を押す**

●表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

3 **「放送受信設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「地域設定」を選び、[決定] を押す**

5 **「県域設定」を選び、お住まいの都道府県を選ぶ**

●「地域設定削除」を選ぶと、お買い上げ時の状態に戻ります。

6 **「郵便番号」を選び、[決定] を押す**

7 1 ～ 10 **でお住まいの地域の郵便番号を入力し、[決定] を押す**

8 **「はい」を選び、[決定] を押す**

B-CAS カードのテストをする

1 スタート **を押す**

2 「放送設定」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、[決定] を押す

4 「B-CAS カードテスト」を選び、[決定] を押す

●NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度手順 1 から行ってください。

リモコン設定をする

リモコン受信を無線方式にする

「無線方式」にすると、以下のようになります。
- ●リモコンを本機に向けずに操作できる
- ●タッチパッドでフリック操作ができるようになる（➜ 操作編 19）
- ●登録したリモコンからのみ操作できる
  - ・本機が他のリモコンからの影響を受けなくなる
  - ・本機のリモコン操作が他の機器に影響しなくなる

無線方式リモコンの使用上のお願い
（➜ 操作編 158）

1 **スタート を押す**

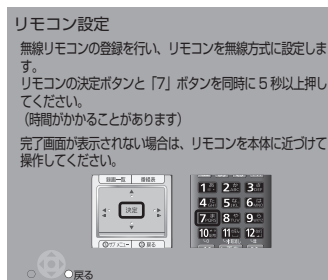
2 **「初期設定」を選び、[決定] を押す**
- ●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「設置設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「リモコン設定」を選び、[決定] を押す**

5 **「リモコン受信方式」を選び、[決定] を押す**

6 **「無線方式」を選び、[決定] を 3 秒以上押す**

7 **[決定] と 7 まPQRS を同時に 5 秒以上押す**

Ir システムを使って予約録画を行う場合

他機器連携（Ir システム）

無線方式でセットトップボックスなどの Ir システム（➜9）を利用する場合、以下の設定が必要です。

左記手順 1 ～ 4 のあと

5 **「無線方式詳細設定」を選び、[決定] を押す**

6 **「他機器連携（Ir システム)」を選び、[決定] を押す**

7 **「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかを選び、[決定] を押す**

フリック操作の設定を行う場合

フリック操作設定

フリック操作を利用するかどうかの設定をします。

左記手順 1 ～ 4 のあと

5 **「無線方式詳細設定」を選び、[決定] を押す**

6 **「フリック操作設定」を選び、[決定] を押す**

7 **「フリック操作」を選び、[決定] を押す**

8 **[入] または [切] を選び、[決定] を押す**

フリック操作による画面の切り換え方向を変更するには

① 上記手順 6 のあと「フリック操作方向」を選び、[決定] を押す
② 「モード 1」または「モード 2」を選び、[決定] を押す

リモコン設定をお買い上げ時の状態に戻すには

以下の操作でお買い上げ時の状態（赤外線方式のリモコン 1）に戻ります。

① 電源「切」時に、本体の [▲] を押す
  ・ディスクトレイが開きます。
② 本体の [▲] を 10 秒以上押す
  ・ディスクトレイが閉まり、メッセージが表示されます。
③ リモコンの [決定] と [1] を 3 秒以上押す

リモコン受信を赤外線方式にする

42 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 「赤外線方式」を選び、[決定] を 3 秒以上押す

7 1 ～ 6 のいずれかを押しながら、[決定] を 3 秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコン設定
本体のリモコン受信方式を赤外線方式に変更しました。
リモコンの"決定"と○を3秒以上押して、リモコンを赤外線方式に設定してください。
次に、決定ボタンを押してください。
決定

8 [決定] を押す

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

42 ページ手順 1 ～ 4 のあと

5 「赤外線方式詳細設定」を選び、[決定] を押す

本機側のモードを設定する

6 「リモコンモード」を選び、[決定] を押す

7 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、[決定] を押す

リモコンモードの設定
本体とリモコンを同じリモコンモードに合わせます。
まず、本体側のリモコンモードを選択して決定ボタンを押してください。
リモコン1
リモコン2
リモコン3
リモコン4
リモコン5
リモコン6
Irシステムを使った予約録画を行う場合は、リモコン1～3を選択してください。

リモコン側のモードを設定する

8 1 ～ 6 のいずれかを押しながら、[決定] を 3 秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。
1. リモコンの数字ボタン ○ と決定ボタンを同時に3秒間押し続けてください。リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを押し続けてください。（約3秒）

9 リモコンを本体に向けて、[決定] を 3 秒以上押す

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

10 [決定] を押す

- リモコンモードの設定を終了します。

別売のシンプルリモコン（DY-RM10）をご使用の場合は、シンプルリモコンのモードの設定を行ってください。（赤外線方式でのみ使用できます）詳しくは、シンプルリモコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 赤外線方式では、フリック操作（➜ 操作編 19）はできません。
- セットトップボックスなどのIrシステム（➜9）を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

リモコン設定をする（続き）

本機のリモコンでテレビを操作する

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。

 を押しながら、[1]～[10] を使って、2 桁のメーカー番号（➜ 下記）を入力する

例）01 の場合…[10] → [1]　10 の場合…[1] → [10]
　　11 の場合…[1] → [1]　12 の場合…[1] → [2]

- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- リモコン受信方式にかかわらず、テレビの受信部にリモコンを向けて操作してください。
- 番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01, 10, 22, 23, 24
アイワ	18
NEC	06, 15
三洋	07, 16
シャープ	02, 11, 21
ソニー	03, 17
東芝	04
パイオニア	13
ビクター	14
日立	05, 20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19
三菱	08, 12, 25

お知らせ

- 当社製テレビの場合、「24」に設定すると、テレビ操作部の [**入力切換**] で、入力に加え、テレビの放送も切り換えることができる場合があります。切り換えることができないときは「24」以外に設定してください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- [1]～[12] を使ってテレビのチャンネル変更はできません。テレビ操作部の [**チャンネル ∧,∨**] をお使いください。

時刻を合わせる

基本操作 選び 決定する

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時計合わせの必要はありません。
下記の表示が出ている場合は、アンテナ線の接続を確認してください。

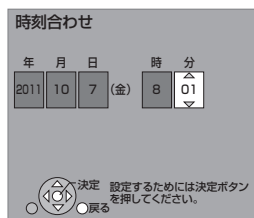
1 スタート **を押す**

2 **「初期設定」を選び、[決定] を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「設置設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「時刻合わせ」を選び、[決定] を押す**

5 **各項目を選び、設定する**

6 **[決定] を押す**

●時計が動き始めます。

その他の設定

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器と接続する
スカパー！HD 対応チューナーと接続する
HDD 内蔵ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク(DLNA)/
スカパー! HD 録画設定

1 スタート **を押す**

2 「初期設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す

4 「お部屋ジャンプリンク（DLNA）/ スカパー！HD 録画設定」を選び、[決定] を押す

5 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、[決定] を押す

6 「入」を選び、[決定] を押す

- レート変換モードの設定画面が表示される場合があります。**(➜ 右記)**
- 「クイックスタート」**(➜26)** が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

7 「アクセス許可方法」を選び、[決定] を押す

8 「手動」または「自動」を選び、[決定] を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
  (「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで **[決定]** を押してください。)
- 「手動」の場合 **(➜ 右記手順 9 へ)**

左記手順 8 で「手動」を選んだ場合

9 「機器一覧」を選び、[決定] を押す

10 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す

11 「アクセス許可」を選び、[決定] を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには (「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

① 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、**[決定]** を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、**[決定]** を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 8 で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

☞ 「レート変換モード」を変更するには

映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。
① 手順 4 のあと「レート変換モード」を選び、**[決定]** を押す
② 「オート」「入」または「切」を選び、**[決定]** を押す

☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

① 手順4のあと「本機の名称」を選び、**[決定]** を押す
② 項目を選び、**[決定]** を押す
- 一覧から選んで変更：あらかじめ登録されている名前から選びます。
- 文字入力して変更：文字入力画面から入力します。**(➜ 操作編 130)**

☞ お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは

手順 6 で「切」を選ぶ
- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- スカパー！HD 対応チューナーから録画または予約録画をする場合や HDD 内蔵ビエラなどからダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
  機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧になって行ってください。

携帯電話、パソコンと接続する

ブロードバンドレシーバー設定

ブロードバンドレシーバー機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、ホームページ（➔16）をご覧ください。

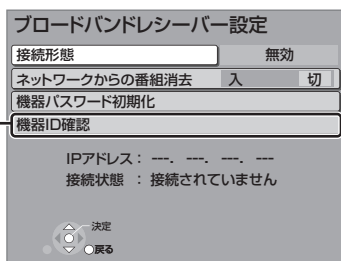
1 スタート **を押す**

2 **「初期設定」を選び、[決定] を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「ブロードバンドレシーバー設定」を選び、[決定] を押す**

5 **「接続形態」を選び、[決定] を押す**

機器 ID：
ブロードバンドレシーバー機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

6 **「インターネット」または「家庭内ネット」を選び、[決定] を押す**

インターネット：本機を宅外 / 宅内の機器から操作する場合
家庭内ネット：本機を宅内の機器からのみ操作する場合

7 **「はい」を選び、[決定] を押す**

「接続されていません」が表示されているとき

ネットワークの接続（➔16 ～ 19）、「IPアドレス/DNS設定」（➔操作編147）を確認してください。

機器パスワードを初期化するには

① 手順４のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す
② 「する」を選び、[決定] を押す

ネットワーク連携する機器の設定をする（続き）

ドアホン・センサーカメラと接続する

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホンやセンサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。

手順 4 から 8 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 スタート **を押す**

2 「初期設定」を選び、［決定］を押す

- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、［決定］を押す

4 「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、［決定］を押す

5 「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、［決定］を押す

6 「入」を選び、［決定］を押す

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を「入」にすると、HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を録画するための領域が確保されます。一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」（➜ 操作編 142）をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、[戻る] を押してください。

7 「〈新規登録〉」を選び、［決定］を押す

8 「する」を選び、［決定］を押す

- 登録が正しく完了したら "登録が完了しました。" と表示され、本体表示窓に "⌂" が点灯します。
- ドアホンやセンサーカメラは最大５台まで登録できます。

☞「ドアホン・センサーカメラ接続」からの録画を解除するには

手順 6 で「切」を選ぶ

- 手順 4 のあと「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

☞ 登録機器の詳細情報を確認するには

手順 4 のあと「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[決定] を押す

- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。

☞ 機器の登録を削除するには

① 手順 4 のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、[決定] を押す
② 「登録削除」を選び、[決定] を押す
③ 「する」を選び、[決定] を押す

☞ 機器の登録ができない場合は

- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約 3 分待って、操作を行ってください。（登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 8 を行ってください）
- ネットワークの接続や設定が正しく行われていても登録ができない場合は、DIGA（ディーガ）ご相談窓口（➜ 操作編 裏表紙）までお問い合わせください。

プリンターと接続する

ネットワークプリンターの接続設定

プリンターはネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したものをご使用ください。

1 スタート **を押す**

2 **「初期設定」を選び、［決定］を押す**
- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 **「ネットワーク通信設定」を選び、［決定］を押す**

4 **「ネットワークプリンターの接続設定」を選び、［決定］を押す**

5 **「プリンター検索」が選ばれている状態で、［決定］を押す**

6 **「する」を選び、［決定］を押す**
- プリンター検索が正常に終了した場合、プリンター名を表示します。

別売の USB ハードディスク※を接続する

※ 以降、USB-HDD と表示

本機は、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に録画することができます。

●USB-HDD の説明書もよくお読みください。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、以下の推奨 USB-HDD をご使用ください。（2011 年 7 月現在）

●当社製：DY-HD500

●他社製：右記のマークが付いたもの

推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/bd/

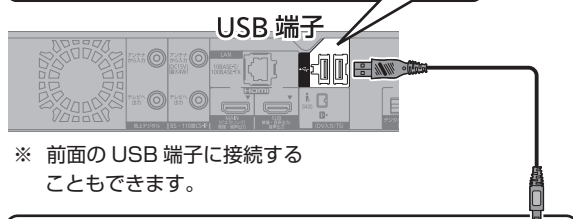
●本機で使用する場合、「USB-HDD の登録」(➜51) を行う必要があります。

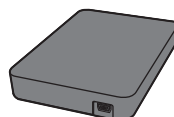
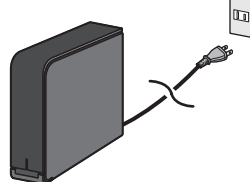
●USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

USB 専用ケーブル

接続に使用する USB ケーブルは、USB-HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。

USB 端子

※ 前面の USB 端子に接続することもできます。

電源コード接続不要

電源供給方式の USB-HDD の場合、本機で使用中は電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。

・USB ハブを使用して、接続しないでください。

USB-HDD を取り外す場合

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、USB-HDD や録画中の内蔵 HDD、ディスクの記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

❶ [スタート] を押す

❷「初期設定」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀][▶▶|] でページを切り換えてください。

❸「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、[決定] を押す

❹「USB-HDD 設定」を選び、[決定] を押す

❺「USB-HDD の取り外し」を選び、[決定] を押す

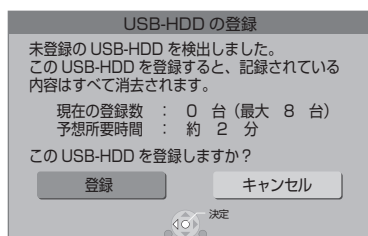
❻「実行」を選び、[決定] を押す

❼ USB-HDD を取り外す

登録する

USB-HDD を使用する場合、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。
登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

例）
1 スタート **を押す**

2 「初期設定」を選び、［決定］を押す
- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、［決定］を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、［決定］を押す

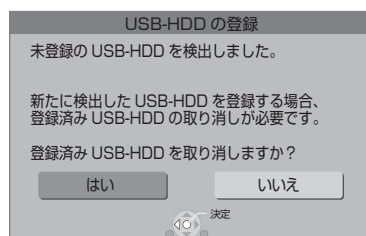
5 「USB-HDD の登録」を選び、［決定］を押す

6 「登録」を選び、［決定］を押す

7 ［決定］を押す

お知らせ
- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。
9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

例）
❶ **「はい」を選び、［決定］を押す**
❷ **取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、［決定］を押す**
❸ **「実行」を選び、［決定］を押す**
❹ **「登録」を選び、［決定］を押す**
❺ **［決定］を押す**

すべての USB-HDD 登録を取り消す

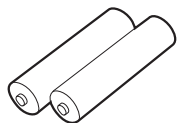
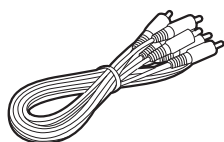
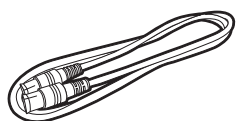
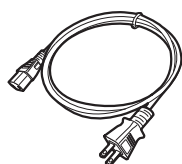
本機に登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。
USB-HDD や本体を廃棄や譲渡する場合などに行ってください。
「USB-HDD の取り外し」（➔50）を行ったあと、実行してください。

左記手順 1 ～ 4 のあと

❺ **「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、［決定］を 3 秒以上押す**
❻ **「はい」を選び、［決定］を押す**
❼ **「実行」を選び、［決定］を押す**
❽ **［決定］を押す**

お知らせ
- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

付属品を確認する

リモコン（1 個）
N2QBYB000012

リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形アルカリ乾電池

映像・音声コード（1 本）
K2KA2BA00003

75Ω 同軸ケーブル（1 本）
K2KZ2BA00005

電源コード（1 本）
DMR-BZT9000
K2CA2YY00185
DMR-BZT910
K2CA2YY00188

B-CAS カード（1 枚）
●本カードの紛失時は
（➜21）

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。

http://p-mp.jp/cpm/

お知らせ
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2011 年 7 月現在のものです。
変更されることがあります。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　コンシューマープロダクツ事業グループ
〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3Q46-1
F0711HA1101 (7500 Ⓑ)